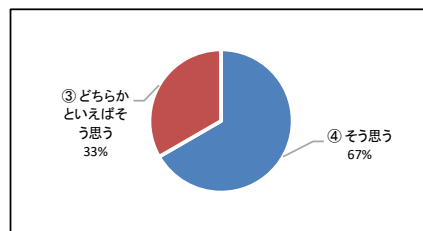


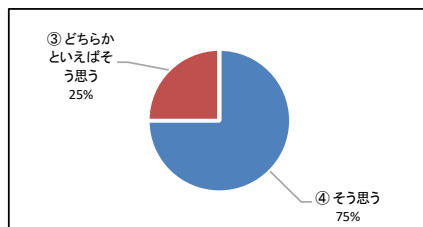
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	16	66.7
③ どちらかといえばそう思う	8	33.3
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

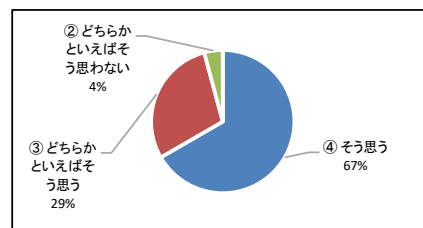
	回答数	割合
④ そう思う	18	75.0
③ どちらかといえばそう思う	6	25.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0



6. 「プレゼンテーション実践」について

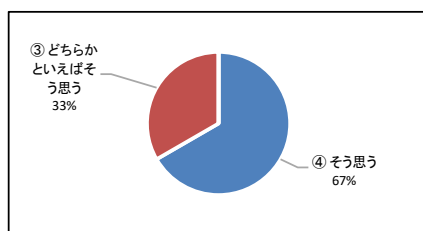
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	16	66.7
③ どちらかといえばそう思う	7	29.2
② どちらかといえばそう思わない	1	4.2
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0



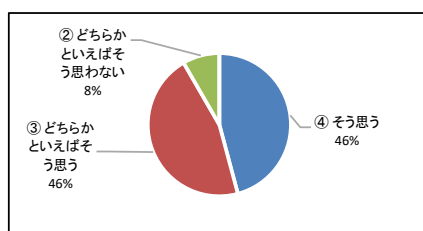
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	16	66.7
③ どちらかといえばそう思う	8	33.3
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0



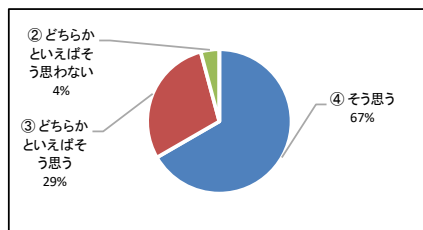
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	11	45.8
③ どちらかといえばそう思う	11	45.8
② どちらかといえばそう思わない	2	8.3
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0



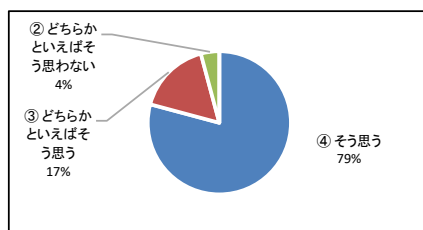
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	16	66.7
③ どちらかといえばそう思う	7	29.2
② どちらかといえばそう思わない	1	4.2
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	19	79.2
③ どちらかといえばそう思う	4	16.7
② どちらかといえばそう思わない	1	4.2
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0



1. (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

- 大学職員として職務を実行する能力 (処理, 考え方, 根拠)
- コミュニケーション (職員間, 学生と, 教員と) の効果的な方法, 態度 (思想)
- プレゼンテーション能力 【7件】
- 後輩への接し方, フォロー
- キャリア形成に対する前向きさ, 大学全体に対する知識 (仕事内容や学生のことなど)
- 自分の考えをシンプルにかつ, わかりやすくまとめるスキル
- キャリア形成をするにあたっての勉強が必要だと思う。
- クレームに対する基本的な対応の方法。
- 自大学の知識 (先生方の研究内容など。大まかなことしか分からないので, もっと深く知ることができれば入試広報で役立てられるのかな…と思います。) パソコンのスキル (アクセスをもっと学びたい。)
- 医学生, 医師に係るキャリアアップの法令, 制度の知識
- 法規, リーダーシップ, プレゼンテーション, 危機管理, 法人経営
- 会話力, 資格
- 担当している業務に関する知識, フォロワーシップ
- リーダーシップ
- 文書作成力
- 共働?協働するための方法
- 学生対応に必要なこと (コミュニケーション, 事務処理)

7. 受講して良かったと思われる点を, 具体的にお書きください。

- グループワークが多く, 色々な意見を聞くことができ, いい経験になりました。所属や職員歴の異なる方々と知り合うことができ良かったです。
- 日常業務に活かせることがたくさんありました。ありがとうございました。
- モチベーションが上がりました。今のまま続けていいんだ!と確信できたこと, 苦手だったけど少しだけ自信を持てるようになったこと。今後に活かしていきたいと思います。
- 何となくイメージしていたことを言語化されることで, 反省点や目標が見えてきた。
- 受講前は, 大学病院で働く医事専門職員については別にさせていただきたいと考えていましたが, 様々な考え方に触れ, 良い刺激を頂きました。ありがとうございました。
- プレゼンテーションの練習ができた。
- 改めて, 自分の適性やキャリアに対する意識を知ることができた。もう少し前向きに業務に臨もうと思います。
- 仕事への意識が高まった。普段関わりの無い他の大学の人たちと仲良くなれた。

- 自分自身について、色々な角度から考える時間がたくさんあり、これからの将来像が見えてきた気がする。
- プレゼンテーション実践は特に今後の業務に活かせると思いました。
- リーダーシップとは役職、立場に関係なく誰もが発揮するものであると学べた点。
- 他大学の職員とコミュニケーションがとれて良かったです。プレゼンテーションで、自大学のプレゼンという課題がとても良かったです！！おかげで、他大学のことを知れて参考になりました！ありがとうございます！
- たくさんの刺激をもらうことができました。来週の業務から活かせるように実践していきたいです。
- 知識を得られた。今後とも、同様に充実した研修をお願いします。
- プレゼンテーション能力の向上に繋がる内容で良かった。仕事にすぐ活用できる内容で良かった。
- クレーム対応について皆似ている課題を抱えており、対応について様々な意見を共有できた。
- 自分に足りないもの（クレーム対応力、話をまとめる力）を自覚できました。
- リーダーシップとフォロワーシップ、プレゼンのことが学べたのが良かった。
- 他大学の職員と交流することができた。自分のキャリアと向き合うことができた。
- 自分のことを振り返ることができた。色々な意見を聞くことができた。最後にもう一度振り返りを見直したことで、より理解が深まった。

8. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

- 事前課題は業務内にはできませんので、もう少し軽めのお題だと嬉しいです。
- ワークが多く、各時間毎に班替えがあり、たくさんの方と意見交換できたのは大変良かった。しかし、プレゼンテーションの資料作成は少し負担を感じた。
- キャリア形成、リーダーシップ、クレーム対応、プレゼンが何故研修コンテンツに選ばれたのか知りたい。
- 1日で行って欲しい。
- 1時間毎に5分くらいの休憩が欲しい。
- プレゼンテーション資料作成の内容をもう少し具体的をお願いします。（場所、相手、時間など）

SPOD研修アンケート集計結果

研修名：令和元年度 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）

実施日：令和元年9月25日（水）～27日（金）

実施会場：愛媛大学 共通講義棟B CRI-1講義室

参加者数：25名

回答者数：25名

1. 参加者ご自身について

(1) 所属先

	回答数	割合
① 4年制大学	22	88.0
② 短期大学	0	0.0
③ 高等専門学校	2	8.0
④ その他（ ）	1	4.0
計	25	100.0

(2) 所属先の設置者

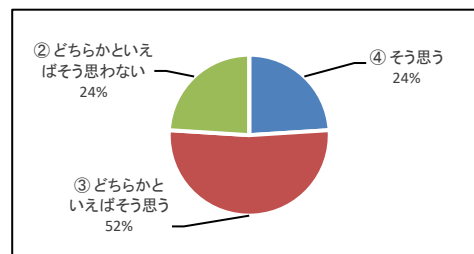
	回答数	割合
① 国（国立大学法人）	17	68.0
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	2	8.0
③ 学校法人	6	24.0
計	25	100.0

(3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。（具体的に）
別紙記載

2. 研修全体について

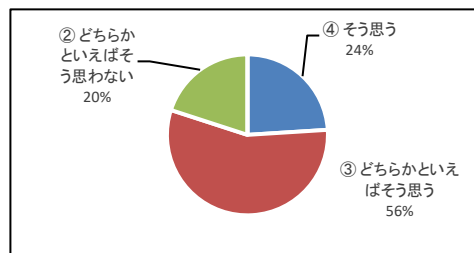
(1) 研修目的や内容についてある程度知った上で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	6	24.0
③ どちらかといえばそう思う	13	52.0
② どちらかといえばそう思わない	6	24.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



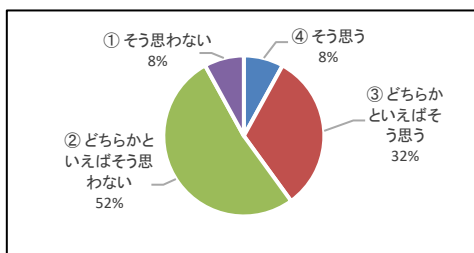
(2) 自分自身で能力開発の必要性を感じて参加した

	回答数	割合
④ そう思う	6	24.0
③ どちらかといえばそう思う	14	56.0
② どちらかといえばそう思わない	5	20.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



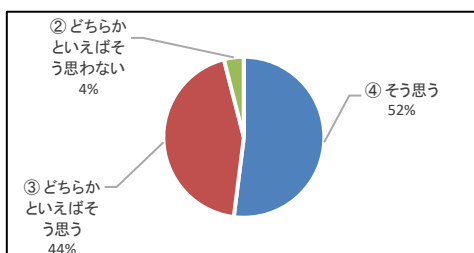
(3) 研修内容をすぐに活用しなければならない状況で参加した

	回答数	割合
④ そう思う	2	8.0
③ どちらかといえばそう思う	8	32.0
② どちらかといえばそう思わない	13	52.0
① そう思わない	2	8.0
計	25	100.0



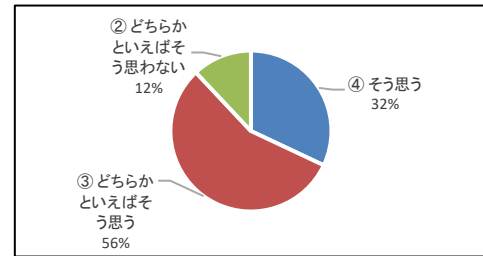
(4) 上司はこの研修への参加を肯定的に捉えている

	回答数	割合
④ そう思う	13	52.0
③ どちらかといえばそう思う	11	44.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



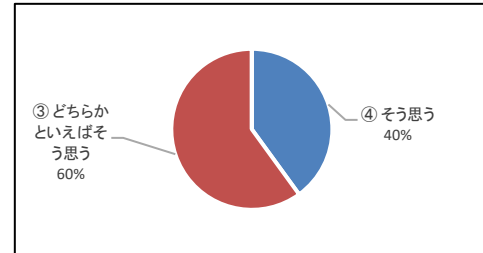
(5) 研修の実施時期は適当だった

	回答数	割合
④ そう思う	8	32.0
③ どちらかといえばそう思う	14	56.0
② どちらかといえばそう思わない	3	12.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



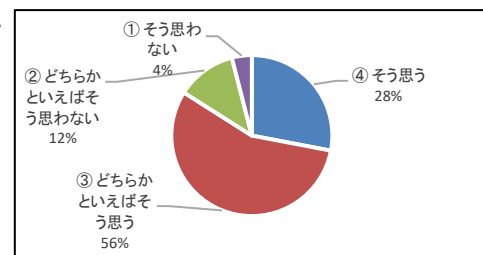
(6) 研修会場は快適な環境だった

	回答数	割合
④ そう思う	10	40.0
③ どちらかといえばそう思う	15	60.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



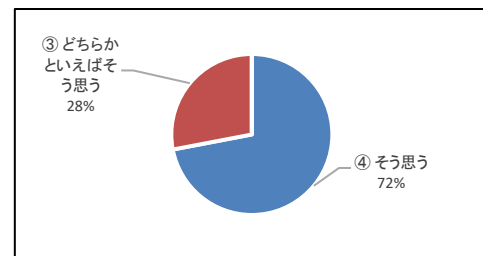
(7) 研修時間は研修目的を達成するために丁度良い長さだった

	回答数	割合
④ そう思う	7	28.0
③ どちらかといえばそう思う	14	56.0
② どちらかといえばそう思わない	3	12.0
① そう思わない	1	4.0
計	25	100.0



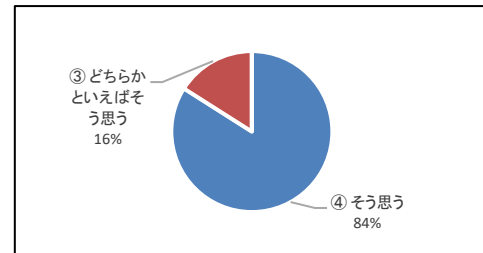
(8) 事務局は手際よく研修を運営していた

	回答数	割合
④ そう思う	18	72.0
③ どちらかといえばそう思う	7	28.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



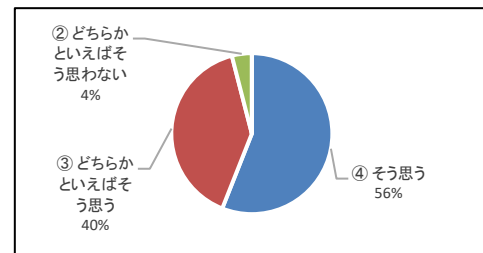
(9) 事務局の対応は丁寧だった

	回答数	割合
④ そう思う	21	84.0
③ どちらかといえばそう思う	4	16.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



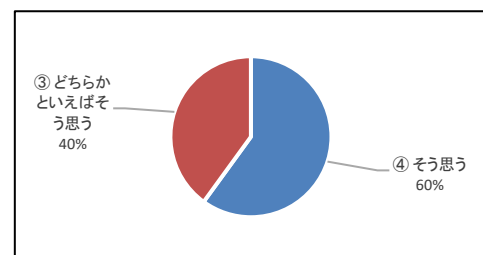
(10) 新たに人的なつながりをつくることができた

	回答数	割合
④ そう思う	14	56.0
③ どちらかといえばそう思う	10	40.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



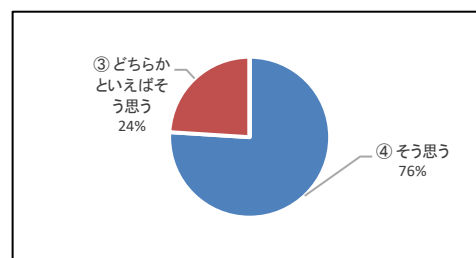
(11) 研修は全体的に満足できるものだった

	回答数	割合
④ そう思う	15	60.0
③ どちらかといえばそう思う	10	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



(12) 今後もこの研修を継続していくべきだと思う

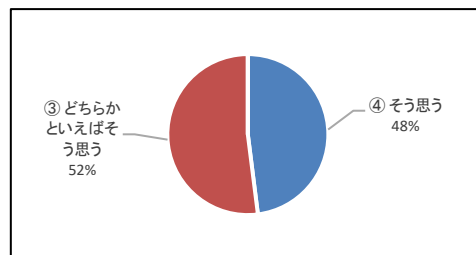
	回答数	割合
④ そう思う	19	76.0
③ どちらかといえばそう思う	6	24.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



3. 「人材マネジメント」について

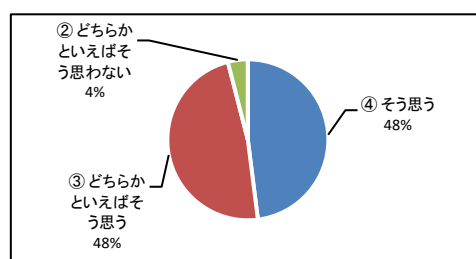
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	12	48.0
③ どちらかといえばそう思う	13	52.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



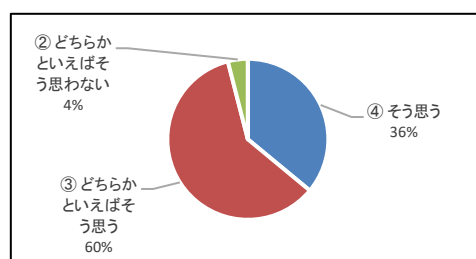
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	12	48.0
③ どちらかといえばそう思う	12	48.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



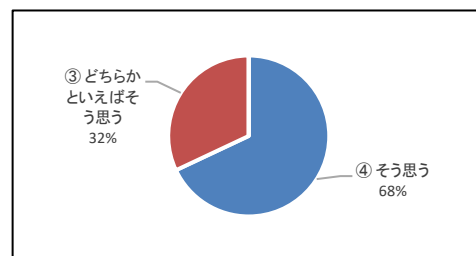
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	9	36.0
③ どちらかといえばそう思う	15	60.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



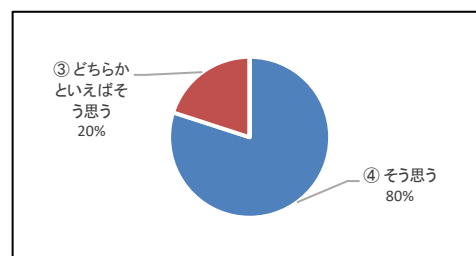
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	17	68.0
③ どちらかといえばそう思う	8	32.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

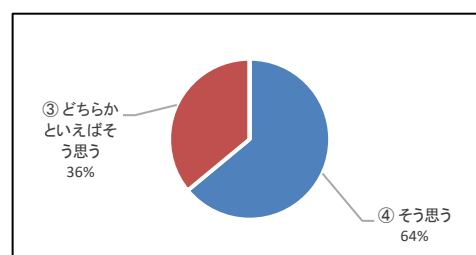
	回答数	割合
④ そう思う	20	80.0
③ どちらかといえばそう思う	5	20.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



4. 「メンタルヘルス・ラインケア実践」について

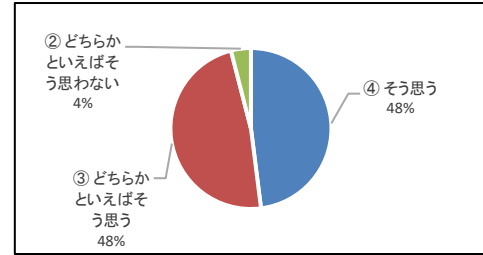
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	16	64.0
③ どちらかといえばそう思う	9	36.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



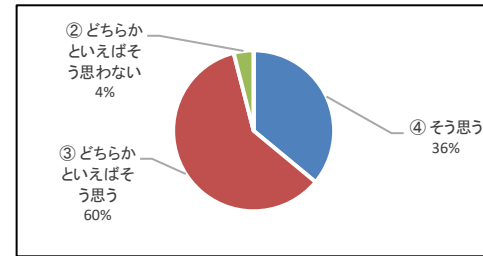
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	12	48.0
③ どちらかといえばそう思う	12	48.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



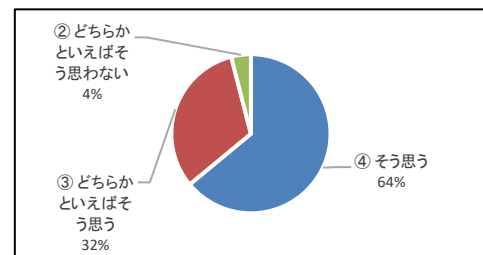
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	9	36.0
③ どちらかといえばそう思う	15	60.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



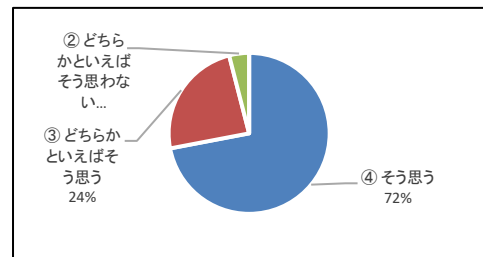
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	16	64.0
③ どちらかといえばそう思う	8	32.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

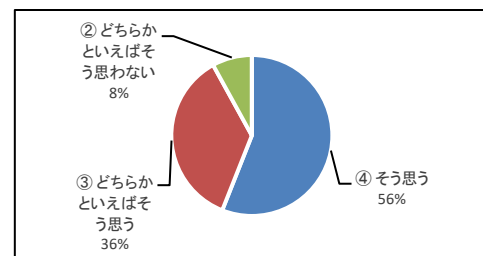
	回答数	割合
④ そう思う	18	72.0
③ どちらかといえばそう思う	6	24.0
② どちらかといえばそう思わない	1	4.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



5. 「戦略策定と組織運営」について

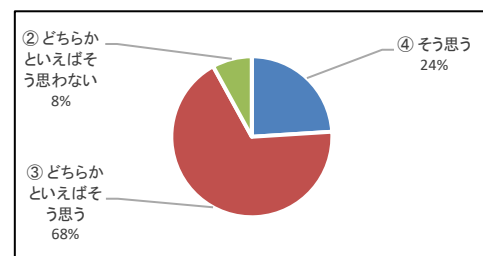
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	14	56.0
③ どちらかといえばそう思う	9	36.0
② どちらかといえばそう思わない	2	8.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



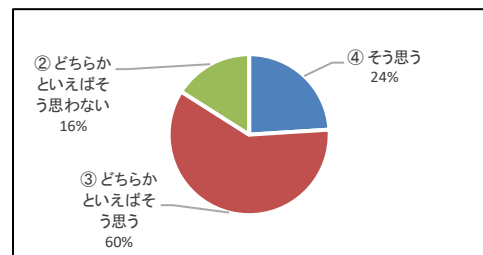
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	6	24.0
③ どちらかといえばそう思う	17	68.0
② どちらかといえばそう思わない	2	8.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

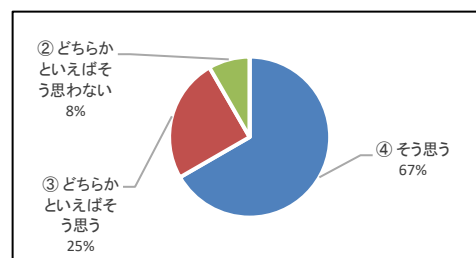
	回答数	割合
④ そう思う	6	24.0
③ どちらかといえばそう思う	15	60.0
② どちらかといえばそう思わない	4	16.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	16	66.7
③ どちらかといえばそう思う	6	25.0
② どちらかといえばそう思わない	2	8.3
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0

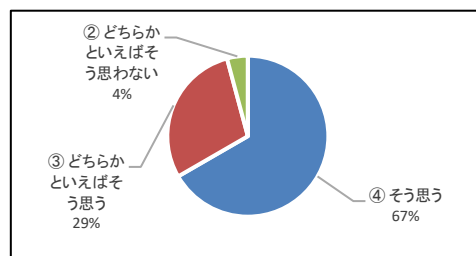
※1名未記入



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	16	66.7
③ どちらかといえばそう思う	7	29.2
② どちらかといえばそう思わない	1	4.2
① そう思わない	0	0.0
計	24	100.0

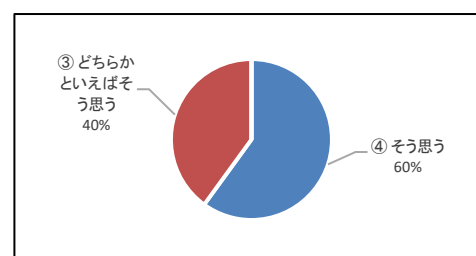
※1名未記入



6. 「危機管理特論」について

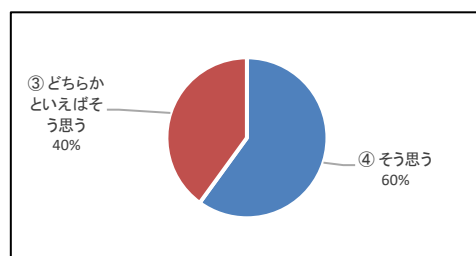
(1) 研修は自分の業務に活かせる内容だった

	回答数	割合
④ そう思う	15	60.0
③ どちらかといえばそう思う	10	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



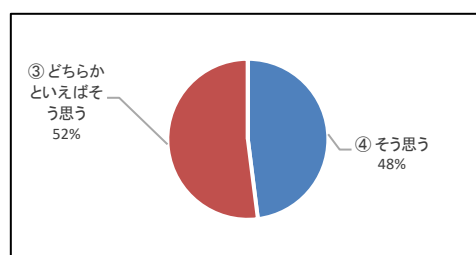
(2) 研修の内容は十分に理解できた

	回答数	割合
④ そう思う	15	60.0
③ どちらかといえばそう思う	10	40.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



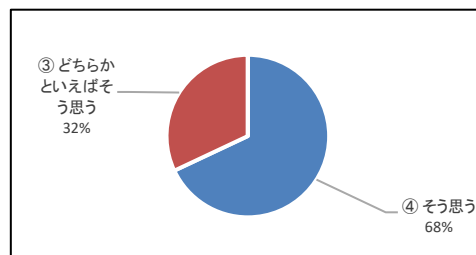
(3) 自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	回答数	割合
④ そう思う	12	48.0
③ どちらかといえばそう思う	13	52.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



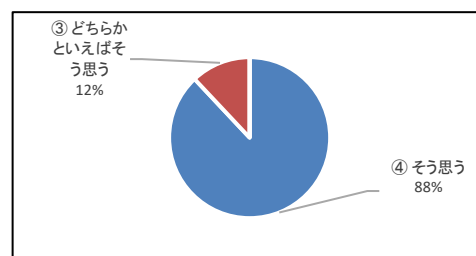
(4) 講師の用意した教材はわかりやすかった

	回答数	割合
④ そう思う	17	68.0
③ どちらかといえばそう思う	8	32.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



(5) 研修は満足出来るものだった

	回答数	割合
④ そう思う	22	88.0
③ どちらかといえばそう思う	3	12.0
② どちらかといえばそう思わない	0	0.0
① そう思わない	0	0.0
計	25	100.0



1. (3) 現在のあなたにとってレベルアップが必要なスキル・知識は何ですか。(具体的に)

- コミュニケーション能力
- 判断力
- 人材育成, 人材マネジメント 【7】
- 地域との連携
- 契約書, 覚書の作り方
- 大学の指針の理解, 役割
- 危機管理に関する知識とアンテナ (日頃, 日常的なリーダーとしての責任・意識を更に高く持つ事)
- 危機管理 【4】
- ラインケア・ヘルスケア 【3】
- 戦略策定と組織運営 【5】
- BCPを考えて業務を行っていきたい。人と人との話合いの重要性と一つの問題に対しての考え方の違いを理解したい。「傾聴」での相手からの話の聞き方と理解の仕方。
- 的確な指示力
- 学部ではなく, 大学全体の戦略や組織運営方針の理解。
- 高等教育の政策に関すること。自大学の経営や戦略に関すること。
- 管理職としての意識・経験していない業務の知識
- (経験年数の長い) 年下部下への上手な指導の仕方。
- コーチング, クレーム対応, 外国語

7. 受講して良かったと思われる点を, 具体的にお書きください。

- 日頃から管理職として意識しておく必要があることを再認識した。
- 管理職としてどんなスキルが必要なのかがわかった。この研修だけで身についたとは言えないが, 今後スキルを身につけて業務に活かす足がかりとなった。
- 全体的に満足です。
- 今までに経験することがないシミュレーション, また現在のポジションでは知ることや教えてもらえないことなどの内容で, 大学の現状がまだ消化されてはいないが理解できた。各内容, 非常に興味深く, (理解できたかは別に) 拝聴できた。
- 自分に不足している事項を改めて確認できる良い機会になり, また人的ネットワーク, 他大学の状況を聞くことができた。特に危機管理で経験した内容は自分自身の財産です。
- 危機管理対応等における情報収集整理, 連絡, 調整の大切さ。ネットワークが広がったこと。
- 管理職として, たくさんの業務の知識が必要なことが理解できた。
- とても必要なスキルであると思い参加しました。危機管理特論については, あまりにも大きなものになるので, 課内で試してみたい。
- 自分に足りていない部分が補完できたと思う。
- 実践的なプログラムであり, 管理職に必要なスキルアップになった。
- 「こたつみかん」自分は大丈夫と考えがちなので, 組織の成果を出さなければ何も分かってこない。カードを使った性格理解は職場でも活かしたい。
- どれも必要だとは思いつつも, 明確に説明できるようなところまで理解していなかった。しかし, 受講後はそれが明確となり, 早速実践していく必要があると改めて感じた。

- 管理職として必要とする知識やマネジメント、危機管理の実践方法などが理解できた。また人材マネジメントにより、今後若手職員の指導方法がためになった。
- 正直、現在のポストでの研修の必要性について、部下からも今更大学人・社会人の基礎力養成は失礼ではないかと疑問視され、業務をおいてまでと考えていましたが、知識については十分ではなく、今の自分に求められている内容であり、結果として良かったです。
- 今まで関わることのなかった大学の戦略に目を向ける良い機会となった。
- メンタルケアの必要性と若手職員への対応方法を学ぶことができた。
- 設置形態の異なる機関と情報交換できたこと。危機管理の訓練。
- グループに分かれ、活発に意見交換できた。
- 独法化後、各機関独自の運営方針に基づき運営されているため、各機関職員の意識の違いがわかり、自らの振り返り気づきを確認できた。
- 同じような立場の方と楽しく学べました。中間管理職に必要な内容が学べました。
- 身近な問題が多く、有意義であったと思います。
- 部下とちゃんと向き合っているか改めて考えさせられた。モチベーション向上、ラインケアを意識して取り組みたい。
- 現在の業務に密接に関わる課題が多く勉強になりました。「戦略策定と組織運営」は重い課題であったので、モヤモヤ感がありましたが、色々と考えさせられる事も多く、良い問題提起でありました。
- 自分の置かれている立場を改めて考えさせられる研修であった。

8. 研修をよりよいものとするために改善すべき点があれば、具体的にお書きください。

- 改善すべき点は思い当たらないが、この研修が継続し、より良いものになっていくことを希望します。
- メンタルヘルスのワークと時間を増やしてほしい。
- 最終日は、帰任の時間も考慮し、早期の終了となる日程にして欲しい。
- メンタルヘルスはさらに詳しく事例に従った対処方法を知りたいと思った。
- 最終日は午前中に終わって欲しい。
- 3日間は現在のポジションでは業務量的に余裕が無いため、できれば2日間ぐらいにしてほしかったです。現時点で抱えている課題を改善できるようなディスカッションを増やしてほしいです。
- 後学期直前の時期ではなく、もう少し早めに開催していただければ参加しやすいと思います。
- 執行部から課長に求められていることが知りたい。
- メンタルヘルス・ラインケア実践は作業を入れた方が身につくと思います。
- 一泊二日で2回にわけるのはいかがでしょうか。
- 施設見学の時間があれば良かったと思います。
- 受講生の年齢層の影響もあると思うが、ITツール（QRコード）を使った効果、結果良かったのかよく分からなかった。

2019（令和元年）年度 大学教育カンファレンス in 徳島プログラム

会期：2019年12月26日（木） 会場：徳島大学教養教育4号館等

8:30～ 9:00	受付 <教養教育4号館2階ホール>		
9:00～ 9:15	学長挨拶 野地 澄晴 <教養教育4号館202講義室> 司会：川野卓二		
9:15～ 10:15	口頭発表A 座長：常山 幸一 <4号館202講義室> A① 9:15～9:35 ■グラフィック・ファッションによる対話の促進の可能性 学長企画室 玉有 朋子 他	口頭発表B 座長：小川 宏樹 <4号館203講義室> B① 9:15～9:35 ■徳島大学における学習支援 Study Support Space の充実に向けて～運営する学生サークルにできること～ 理工学部機械科学コース1年 大槻 智一 他	口頭発表C 座長：塩川 奈々美 <4号館204講義室>
	A② 9:35～9:55 ■「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」への徳島大学の対応状況 高等教育研究センター 川野 卓二	B② 9:35～9:55 ■工学教育への指針～未来志向の工学教育～ 徳島大学名誉教授 英 崇夫	
	A③ 9:55～10:15 ■実務家教員との協力による地域連携教育の実践 ー総合科学部 COC+プログラムの講義を事例にー 大学院社会産業理工学研究部 豊田 哲也 他	B③ 9:55～10:15 ■プラスチック環境問題を共通テーマとする多面的アクティブラーニング授業の試行 教養教育院 南川 慶二	C③ 9:55～10:15 ■徳島大学における「授業設計ワークショップ」の成果と課題 高等教育研究センター 吉田 博 他
10:15～ 10:30	休憩		
10:30～ 12:00	ワークショップA <地域創生・国際交流会館5F フューチャーセンター> ◆オンライン電子ふせんツール「APISNOTE」を活用したワークショップの体験 教養教育院 北岡 和義 他	ワークショップB <6号館301LL講義室> ◆Moodleにおける数学学習評価手法について 高等教育研究センター 金西 計英 他	
12:00～ 13:00	休憩		

13:00~ 14:00	<p>ポスター発表 <開催場所：4号館 302講義室> 座長：塩川 奈々美</p> <p>① 中学生を対象にしたデザイン思考教育の効果 総合科学部地域創生コース2年 南川 幸太郎 他</p> <p>② 大学生の視点に立った教育環境についての検討 ～メトロポリア応用科学大学(フィンランド)の新キャンパス視察より～ 大学院医歯薬学研究部 松浦 幸恵 他</p> <p>③ 歯科補綴学授業におけるアクティブラーニングの学修効果 —反転授業とTBL、通常授業の比較— 大学院医歯薬学研究部 大倉 一夫 他</p> <p>④ 歯科補綴学(Ⅱ)実習における実習書改定後の検討 大学院医歯薬学研究部 細木 真紀 他</p> <p>⑤ ソーラーカーボディの空力解析 理工学部機械科学コース2年 博多 温輝</p> <p>⑥ 装置設計・製作を取り入れた化学分野における導入教育の開発 技術支援部 上田 昭子 他</p> <p>⑦ 実践して学ぶAI/IoT技術 —公開講座「AI/IoT センサのしくみを知ろう」— 技術支援部 辻 明典 他</p> <p>⑧ 教えることによる学びを活用した高大院連携実験出張講義の実践 教養教育院 南川 慶二 他</p> <p>⑨ Intercultural Pop Culture Classes 日本人と留学生のためのポピュラー・カルチャー授業 教養教育院 ギュンター・ディルク・クレーメンス</p> <p>⑩ 質問づくりを授業に取り入れる試み 教養教育院非常勤講師 ギュンター 知枝</p> <p>⑪ 留学生の日本文化理解への効果とニーズ～日本文化スタディツアーより～ 国際センター チャン ホアンナム</p> <p>⑫ 徳島県と徳島大学の合同進学セミナーの実施と今後の展開 高等教育研究センター 上岡 麻衣子 他</p> <p>⑬ 徳島大学イノベーションプラザにおける学生プロジェクトの活動 ～教学IRによる教育の質保証を目指して～ 高等教育研究センター 森口 茉梨亜 他</p> <p>⑭ 高大社接続を踏まえたキャリア教育の現状分析と改善に関する考察 高等教育研究センター 畠 一樹 他</p>
	14:00~ 14:10

14:10~ 15:30	<p style="text-align: center;">口頭発表D 座長：吉本 勝彦 〈4号館 202 講義室〉</p> <p>D① 14:10~14:30 ■グローバル人材育成のファースト・ステップ マレーシア短期研修の事例</p> <p>高等教育研究センター 橋本 智</p>	<p style="text-align: center;">口頭発表E 座長：山崎 哲男・友竹 正人 〈4号館 203 講義室〉</p> <p>E① 14:10~14:30 ■アクティブ・ラーニング普及を目指した教育改革とその成果：全学初年次教育「SIH道場~アクティブ・ラーニング入門~」を通じて</p> <p>高等教育研究センター 塩川 奈々美</p>
	<p>D② 14:30~14:50 ■徳島大学における入学前学習の効果</p> <p>教養教育院 齊藤 隆仁</p>	<p>E② 14:30~14:50 ■SIH道場に基づくALの取り組み効果について -社会基盤デザインコースの事例より-</p> <p>環境防災研究センター 松重 摩耶 他</p>
	<p>D③ 14:50~15:10 ■徳島大学におけるリメディアル教育（生物学）</p> <p>教養教育院 渡部 稔</p>	<p>E③ 14:50~15:10 ■保育者養成校の短大生に専門性を意識づける「保育者論」の授業のあり方~アクティブ・ラーニングを取り入れて~</p> <p>聖カタリナ大学短期大学部 戸井 和彦</p>
	<p>D④ 15:10~15:30 ■工学部応用理数コースが行ってきた高大接続授業 -理数探究型学習に際し-</p> <p>工学部理工学科応用理数コース 三好 徳和 他</p>	<p>E④ 15:10~15:30 ■社会人基礎力を意識した電気技術イノベーション実習の取り組み</p> <p>阿南工業高等専門学校 小松 実 他</p>
15:30~ 15:45	休憩	
15:45~ 18:00 (休憩含む)	<p>特別講演</p> <p>司会：川野卓二 〈4号館 202 講義室〉 演題：「教育データの利活用とエビデンスに基づく教育の実現にむけて」 講師：緒方 広明 先生（京都大学 学術情報メディアセンター 教授） グラフィック・ファシリテーター：玉有 朋子（学長企画室）</p> <p>自由参加型ディスカッション (テーマ：講演に対する質問や日常の教育活動を進めるうえで困っていること)</p> <p>司会：吉田 博 〈4号館 202 講義室〉 コメンテーター：緒方 広明 先生 他</p>	
18:20~ 20:20	情報交換会 〈徳島大学生協食堂 2F 「Kirara」〉	

